

MVC-MA7-MFi (N)

ユーザーズマニュアル

Ver.1.1.0

2006/2/17

ヤマハ株式会社

本書の著作権は、ヤマハ株式会社に属しています。
本書の内容の転載・一部複製には、ヤマハ株式会社の承諾が必要です。
また、本書の内容は予告なく変更される場合があります。



Copyright© 2005-2006 YAMAHA CORPORATION

All rights reserved

<はじめに>

この書は、NEC 向け携帯端末用コンテンツである MFi(Melody Format for i mode)の全体音量 (MasterVolume), MaxGain を調整するためのアプリケーション・ソフトウェア (MasterVolume Converter for MFi(N) 以下 **MVC-MA7-MFi(N)**)を対象とします。

< 更新履歴 >

Ver.	Date	内容
1.0.0	2005/12/19	新規作成
1.1.0	2006/2/17	1.1 概要 MFi2.0 の場合の説明追加 1.2.1.1 MFi N503 追加 4.1.4 ウィンドウ表示内容 MFi2.0 の場合を追加 4.1.6 Regulate Chorus (Distortion/Compressor)チェックボックス追加 4.1.9 ボリュームの設定について MFi2.0 の場合の説明追加 4.1.9.1 ボリューム変換のしくみ（相対増減値(dB)入力の場合）MFi2.0 の場合追加 4.1.9.2 チャンネルボリュームがない場合(MFi2.0 の場合) 追加 4.1.9.3 ボリューム設定方法 MFi2.0 絶対値変換の場合を追加 5 初期設定ファイルの設定 CV_VALUE*=, REGULATE_CHORUS=の記述を追加 6 操作手順 絶対値入力の場合、MFi2.0 追加、Regulate Chorus (Distortion/Compressor)チェックボックスを追加 7 処理結果表示 <図 7-1>、<図 7-2>変更 MVC-MA7_result.txt<表-7>の表記に Effect ボリューム変更に関する記述を追加 8.2.1 OK の場合 MFi2.0 の場合の警告メッセージ追加

<目次>

1	MVC-MA7-MFi(N)	5
1.1	概要	5
1.2	対象フォーマット	5
1.2.1	入力フォーマット	5
1.2.2	出力フォーマット	5
1.3	推奨動作環境	5
2	インストール	6
3	アプリケーションの起動と終了	6
3.1	起動	6
3.2	終了	6
3.2.1	Close ボタンによる終了	6
3.2.2	タイトルバーメニュー[閉じる]による終了	6
3.2.3	[閉じる]ボタンによる終了	6
3.2.4	その他の終了方法	6
4	ウィンドウ	7
4.1	メインダイアログ	7
4.1.1	タイトルバー	7
4.1.2	閉じるボタン	8
4.1.3	Close/Stop ボタン	8
4.1.4	ウィンドウ表示内容	9
4.1.5	Output result to file チェックボックス	10
4.1.6	Regulate Chorus (Distortion/Compressor)チェックボックス	10
4.1.7	ファイル数表示	11
4.1.8	プログレスバー	11
4.1.9	ボリュームの設定について	12
4.2	上書き確認ダイアログ	14
5	初期設定ファイルの設定	15
6	操作手順	17
7	処理結果表示	20
8	エラーメッセージ一覧	23
8.1	ファイル処理のエラー	23
8.2	Detail メッセージ	23
8.2.1	OK の場合	23
8.2.2	NG の場合	23
8.3	メッセージボックス	24
8.3.1	エラーメッセージ	24
8.3.2	確認メッセージ	24

1 MVC-MA7-MFi(N)

1.1 概要

MVC-MA7-MFi(N)は NEC 携帯端末用の MFi (Melody Format for i mode) の音量を調整するための Windows®2000、Windows®XP 上で動作するアプリケーション・ソフトウェアです。

MFi2.0 の場合は、チャンネル毎の音量(ChannelVolume)を、

MFi3.0、MFi3.1、MFi4.0 の場合は、MaxGain を調整します。

調整方法には増減値(dB)での調整と、絶対値での調整の 2 種類あります。

1.2 対象フォーマット

1.2.1 入力フォーマット

1.2.1.1 MFi

以下の NEC 向けの MFi に対応します。

N 機種名	Device 名	MFi バージョン
N902	MA-7	4.0
N901	MA-5	4.0
N900	MA-5	3.1
N506 / N253	MA-5	3.1
N505 / N252	MA-5	3.1
N2102	MA-3	3.0
N504 / N251	MA-3	3.0
N503	MA-2	2.0

1.2.2 出力フォーマット

1.2.2.1 MFi

入力ファイルに対して以下の変更を行います。

- ・ 音量を変更
- ・ date 情報、サポート情報

1.3 推奨動作環境

本アプリケーションは、以下に準じた動作環境が必要です。

対応 OS	Microsoft® Windows® XP Microsoft® Windows® 2000
CPU/クロック	Pentium®, Celeron™、または互換プロセッサ/ 266MHz 以上
メモリー	64MB 以上
必要なハードディスク空き容量	40MB 以上 この他に、入力する全ファイルの合計サイズ程度の空きを必要とします。

本マニュアルで使用されているすべての製品名は、各社の商標および登録商標です。

2 インストール

MVC-MA7-MFi (N)は、以下の2つのファイルで構成されています。

- ・ MVC-MA7.exe (MVC-MA7 実行ファイル)
- ・ MVC-MA7.ini (MVC-MA7 初期設定ファイル)

上記のファイルを任意のディレクトリに置いてください。

3 アプリケーションの起動と終了

3.1 起動

「**MVC-MA7.exe**」を直接ダブルクリックしてください。

3.2 終了

3.2.1 Close ボタンによる終了

ダイアログの **Close** ボタンを押すと終了します。

3.2.2 タイトルバーメニュー[閉じる]による終了

タイトルバーメニューにある「閉じる (Alt+F4)」を選択すると終了します。

3.2.3 [閉じる]ボタンによる終了

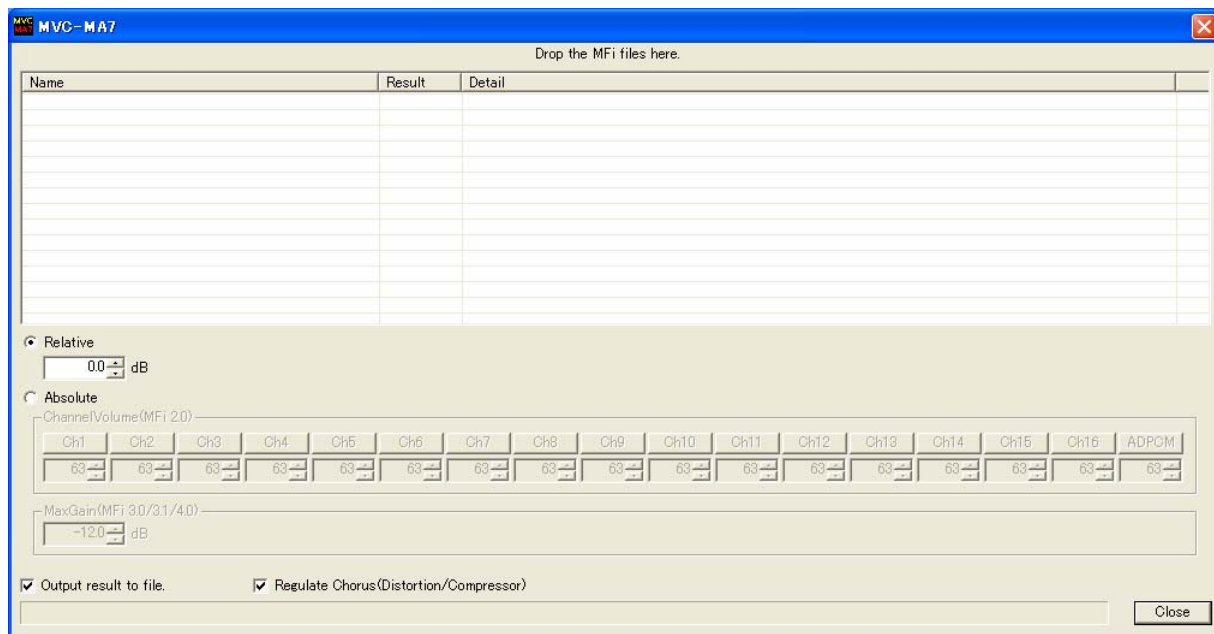
タイトルバー右隅の[閉じる]ボタン(☒)を押すと終了します。

3.2.4 その他の終了方法

メインウィンドウがアクティブになっている時であれば**[Alt]+[F4]** (**[Alt]**を押しながら**[F4]**を押す)を押します。

4 ウィンドウ

4.1 メインダイアログ



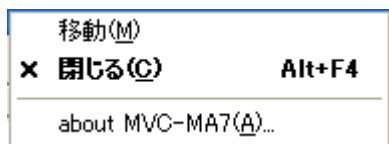
<図 4-1> メインダイアログ

4.1.1 タイトルバー

タイトルバーではアプリケーション名の'MVC-MA7'のみ表示します。
複数ファイルの一括処理にも対応するため、処理中のファイル名の表示は行いません。

4.1.1.1 システムメニュー

タイトルバーの左隅にあるアイコンをクリック、またはタイトルバーの任意のところを右クリックしてもシステムメニューが表示されます。



<図 4-2> システムメニュー

4.1.1.1.1 移動

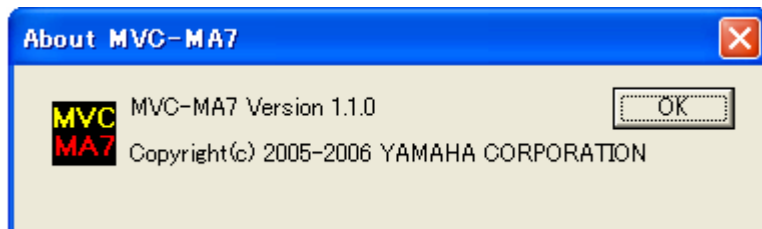
方向キー（↑→↓←）またはマウスを使ってダイアログの移動が可能です。

4.1.1.1.2. 閉じる

クリックすると、現在のダイアログを閉じアプリケーションを終了します。
[Alt]+[F4]も同様です。

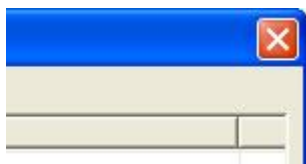
4.1.1.1.3. about MVC-MA7

MVC-MA7 のバージョンを表示します。




<図 4-3 バージョンダイアログ

4.1.2 閉じるボタン



<図 4-4>閉じるボタン

閉じるボタン をクリックすると、現在のダイアログを閉じアプリケーションを終了します。
[Alt]+[F4]も同様です。

4.1.3 Close/Stop ボタン

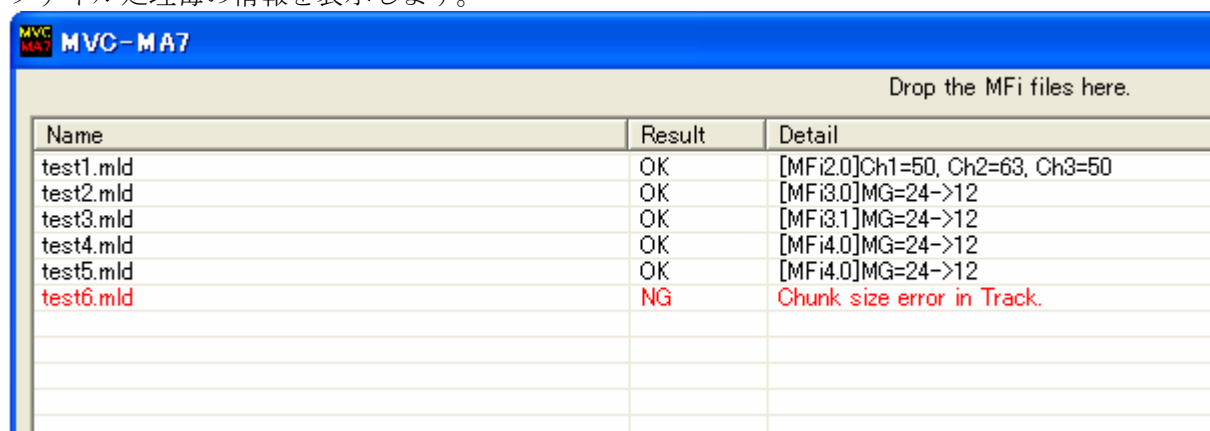


<図 4-5>Close/Stop ボタン

アプリケーション起動直後など変換対象ファイルが指定されるまでの待機中は **Close** を表示し、その操作によりアプリケーションを終了します。
変換対象ファイルを指定し変換処理が始まるとその終了まで **Stop** を表示します。
Stop 表示中のボタン操作により変換処理を中断し、待機状態の **Close** 表示に変わります。

4.1.4 ウィンドウ表示内容

ファイル処理毎の情報を表示します。



Name	Result	Detail
test1.mld	OK	[MFi2.0]Ch1=50, Ch2=63, Ch3=50
test2.mld	OK	[MFi3.0]MG=24->12
test3.mld	OK	[MFi3.1]MG=24->12
test4.mld	OK	[MFi4.0]MG=24->12
test5.mld	OK	[MFi4.0]MG=24->12
test6.mld	NG	Chunk size error in Track.

<図 4-6> ウィンドウ表示内容

<Name>

変換対象のファイル名を表示します。

<Result>

処理した結果（OK/NG）を表示します。

<Detail>

Result が OK の場合は、MFi バージョン、変換前と後のボリューム値を表示します。

またエラーの場合は、エラー内容を表示します。

エラー内容については、< 8 エラーメッセージ一覧 >をご参照ください。

表示内容	表示例	説明
MFi バージョン	[MFi2.0]	入力 MFi は Ver.2.0
	[MFi3.0]	入力 MFi は Ver.3.0
	[MFi3.1]	入力 MFi は Ver.3.1
	[MFi4.0]	入力 MFi は Ver.4.0
ボリュームを変換しませんでした	Not Converted — NotExistTargetVolume	Result はOKです。 文字色は青色で表示します。
エラー	Chunk size error in Track.	Result は NG です。 文字色は赤色で表示します。
ボリューム値変換情報	100->127	100 から 127 へ変換しました。
ボリューム値変換情報 元ボリューム値が無い場合 (MFi2.0 の場合のみ)	Ch1=63	チャンネル1のチャンネルボリュームに 63 を挿入しました。

<表 4-1> Detail 表示内容

[NOTE]

mld 内の同チャンネルに複数チャンネルボリュームが存在する場合(MFi2.0)または、mld 内に複数マスターボリュームが存在する場合(MFi3.0、MFi3.1、MFi4.0)は、ウィンドウには最初のボリューム値の変換情報のみ表示されます。

全てのボリューム値の変換情報を見たい場合は、処理結果ファイル < 7 処理結果表示 >をご参照ください。

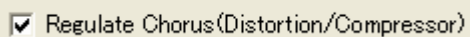
4.1.5 Output result to file チェックボックス



<図 4-7> Output result to file チェックボックス

Output result to file チェックボックスにチェックすると処理結果が「MVC-MA7_result.txt」に出力されます。
「MVC-MA7_result.txt」ファイルについては、<7 処理結果表示 >を参照ください。

4.1.6 Regulate Chorus (Distortion/Compressor)チェックボックス



<図 4-8> Regulate Chorus(Distortion/Compressor) チェックボックス

Regulate Chorus チェックボックスにチェックすることにより、Effect のボリューム調整を行います。

MFi4.0 入力時に有効です。

Effect の種類によって全体音量を下げても追従して音量が下がらないものがあります。
このオプションを ON にすることにより、全体音量に追従して下がるように調整します。

該当する Effect は、Distortion、Overdrive、Amp Simulator、Compressor です。
これらの Effect を使用している時は、ON にすることをお勧めします。

4.1.7 ファイル数表示

Converted/OK/Total : 3/3/4

<図 4-9> ファイル数表示

処理中、処理結果をファイル数で表示します。

[処理中] Converting : XX/XXX

[処理結果] Converted /OK/Total : XX/XX/XXX

<Converted>

変換を行ったファイル数を表示します。

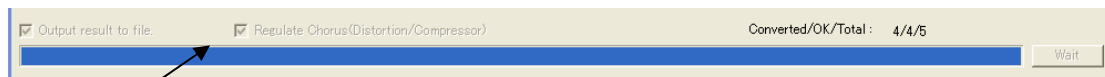
<OK>

処理に成功したファイル数を表示します。

<Total>

ドラッグ&ドロップによって指定された全ファイル数を表示します。

4.1.8 プログレスバー



プログレスバー

<図 4-10> プログレスバー

指定されたファイル数に対するエラーを含む処理の終了したファイル数の割合をグラフィカルに表示します。

4.1.9 ボリュームの設定について

MVC-MA7-MFi(N)では以下、2つのボリューム設定方法を選択できます。

設定方法	説明
相対増減値(dB)入力	<p>MFi 内のボリュームに対して、何 dB 増減させるか、dB 値で入力します。</p> <p>MFi2.0 の場合、全チャンネルボリュームに対して元の音量バランスを保ちながら一律で音量を変更させることができます。</p> <p>MFi3.1, MFi3.0, MFi4.0 の場合、MaxGain、全マスターボリュームに対して元の音量バランスを保ちながら一律で音量を変更させることができます。 まずは MaxGain を 0dB から-12dB の範囲で変更し、それからマスターボリュームを変更させます。</p>
絶対値入力	<p>MFi 内のボリューム値を指定された数値に置き換えます。</p> <p>MFi2.0 で、同チャンネルに複数個ボリュームがあった場合、全て指定された数値に置き換えます。</p> <p>MFi3.1, MFi3.0, MFi4.0 の場合、MaxGain を指定された数値に置き換えます。</p>

<表 4-2> ボリューム設定方法

4.1.9.1 ボリューム変換のしくみ（相対増減値(dB)入力の場合）

ボリューム増減値を dB 値で指定する場合は、ボリュームを dB 変換し、指定された値を増減したのち逆 dB 変換します。

[NOTE]

MFi2.0 と MFi3.0, MFi3.1, MFi4.0 では dB 変換と逆 dB 変換のテーブルが違うため、同じ dB 値で増減させても変換後のボリューム値が若干異なる場合があります。

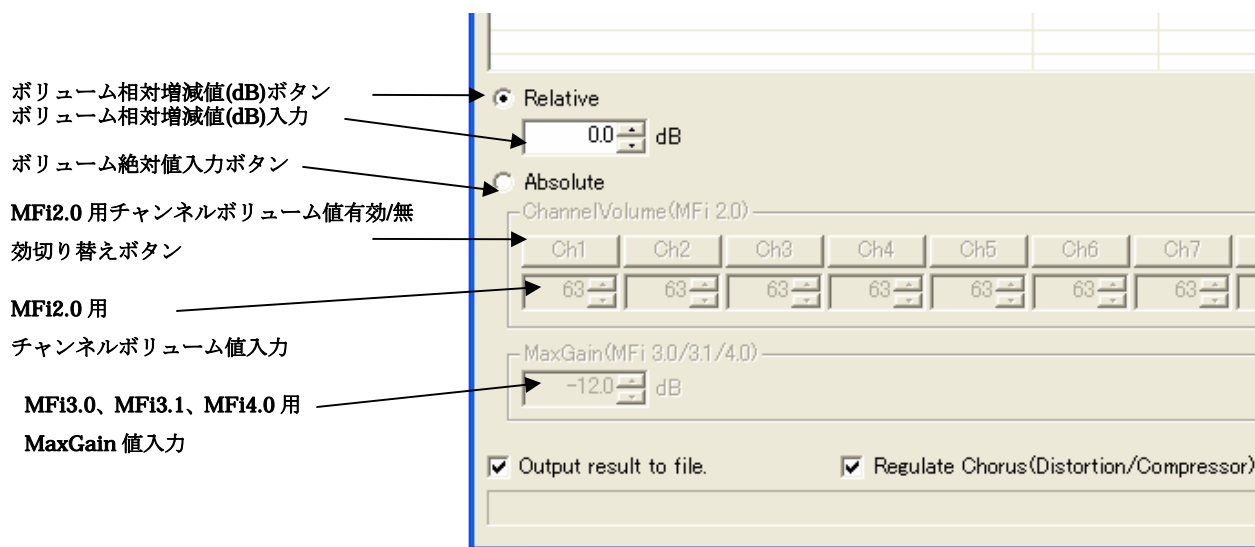
4.1.9.2 チャンネルボリュームがない場合(MFi2.0 の場合)

最初のノートメッセージまでにチャンネルボリュームが無い場合、シーケンスデータの先頭にデュレーション 0 のチャンネルボリュームを挿入します。

[NOTE]

曲の先頭にノートがある場合、その直前にチャンネルボリュームが挿入されます。
これがドラムノートの場合、ボリュームの効果がかかるまでに時間がかかる場合があります。

4.1.9.3 ボリューム設定方法



<図 4-11> ボリュームの設定

■ ボリューム相対増減値(dB)入力ボタン (相対値設定)

ボリューム相対増減値(dB)入力を有効にします。

この時、絶対値入力は無効になります。

・ ボリューム相対増減値(dB)入力

元のボリュームに対して何 dB 変化させるか、dB 値で指定します。

指定可能範囲は、-60dB から 60dB までです。

■ ボリューム絶対値入力ボタン (絶対値設定)

ボリューム絶対値入力を有効にします。

この時、ボリューム相対増減値(dB)入力は無効になります。

・ MFi2.0 用チャンネルボリューム値有効/無効切り替えボタン

MFi2.0 の時に有効です。

どのチャンネルのボリューム値を変更させるか指定します。

ボタンを押すことにより有効になります。

ツール立ち上げ時は、全て無効になっています。

・ MFi2.0 用チャンネルボリューム値入力

MFi2.0 の時に有効です。

チャンネルボリューム値を直接入力します。

指定可能範囲は、0 から 63 までです。

・ MFi3.0、MFi3.1、MFi4.0 用 MaxGain 値入力

MaxGain 値を直接入力します。

指定可能範囲は、0[dB]から-12[dB]までです。

4.2 上書き確認ダイアログ

出力先に同名のファイルが存在した場合に表示されるダイアログです。
「はい(Y)」の選択によって以降の処理はすべて上書きモードで行われます。
「いいえ(N)」を選択するとそこで処理は終了します。



<図 4-12> 上書き確認ダイアログ

5 初期設定ファイルの設定

「MVC-MA7.exe」と同一フォルダ内にある「MVC-MA7.ini」が初期設定ファイルです。
このファイルで、MVC-MA7 立ち上げ時の各パラメータの初期値を指定します。

```
[SETTING]
TARGET_FILE=1
DB_VALUE=0.0
MG_VALUE=-12.0
CV_VALUE1=100
CV_VALUE2=100
CV_VALUE3=100
CV_VALUE4=100
CV_VALUE5=100
CV_VALUE6=100
CV_VALUE7=100
CV_VALUE8=100
CV_VALUE9=100
CV_VALUE10=100
CV_VALUE11=100
CV_VALUE12=100
CV_VALUE13=100
CV_VALUE14=100
CV_VALUE15=100
CV_VALUE16=100
CV_VALUE_ADPCM=100
REGULATE_CHORUS=ON
```

<図 5-1>初期設定ファイル例

〈 TARGET_FILE 〉

変更しないでください。

〈 DB_VALUE . . . default dB value 〉

ボリュームを増減させる音量の初期値を設定します。

入力範囲は、-60.0[dB]から 60.0[dB]です。

入力値が範囲を越えている場合、上記の範囲内に自動調整されます。

不正値が設定されている時や、何も入力していない時は 0[dB]になります。

また MVC-MA7 終了時に、終了時点での値を保存します。

(例 dB に 0.0 を指定 DB_VALUE = 0)

〈 MG_VALUE . . . default MaxGain value for MFi3.0, MFi3.1, MFi4.0 〉

絶対入力の場合の MaxGain 初期値を設定します。

入力範囲は 0 から-12 です。

不正値が設定されている時や、何も入力していない時は 0 になります。

また MVC-MA7 終了時に、終了時点での値を保存します。

(例 MaxGain 値に-12 を設定 MV_VALUE = -12)

〈 CV_VALUE* . . . default CV value for MFi2.0 〉

絶対入力の場合の **ChannelVolume** の初期値を設定します。

入力範囲は **0** から **63** です。

入力値が範囲を越えている場合、上記の範囲内に自動調整されます。

不正値が設定されている時や、何も入力していない時は **0** になります。

また MVC-MA7 終了時に、終了時点での値を保存します。

CV_VALUE 1 から CV_VALUE16 1 チャンネルから 16 チャンネルの指定を行う。

CV_VALUE_ADPCM ADPCM チャンネルの指定を行う。

(例 2 チャンネルの **ChannelVolume** 値に **0** を指定 **CV_VALUE 2 =0**)

〈 REGULATE_CHORUS 〉

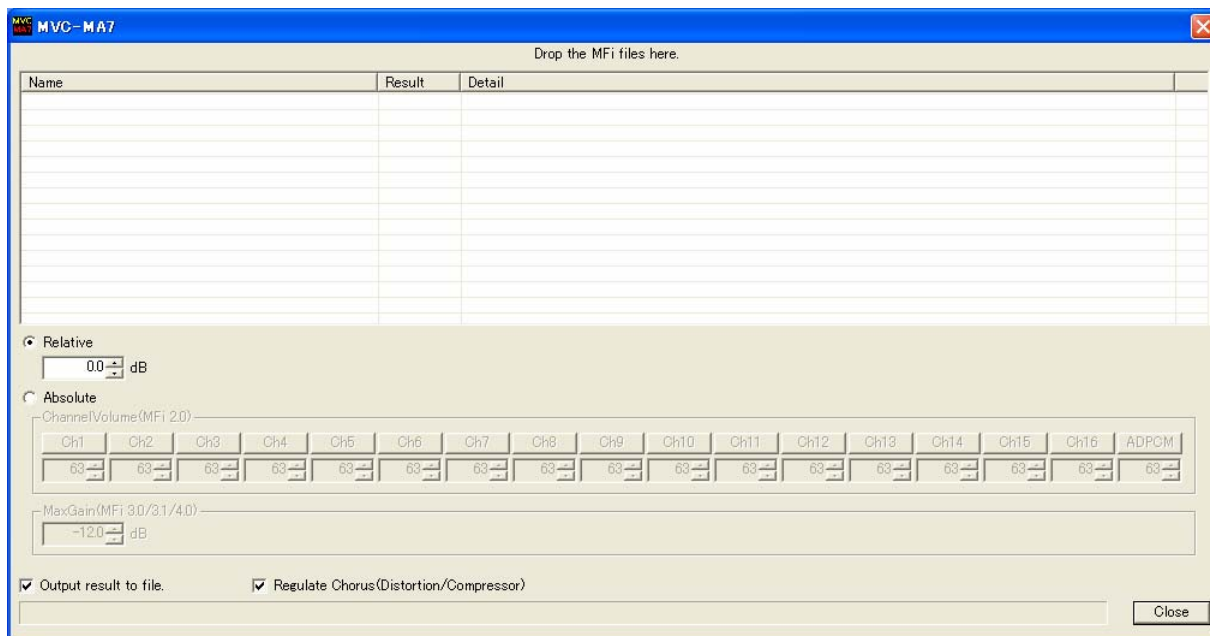
Regulate Chorus (Distortion/Compressor) チェックボックスの設定値を

ON または **OFF** で指定します。

MVC-MA7 終了時に、終了時点での値を保存します

6 操作手順

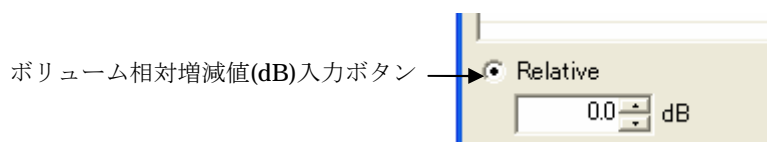
- 1) MVC-MA7 を起動します。



- 2) ボリューム設定方法を選択します。

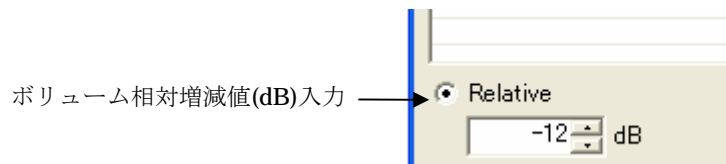
■相対増減値(dB)入力する場合

ボリューム相対増減値(dB)入力ボタンをクリックします。



ボリューム相対増減値(dB)入力エディットボックスに値を設定します。

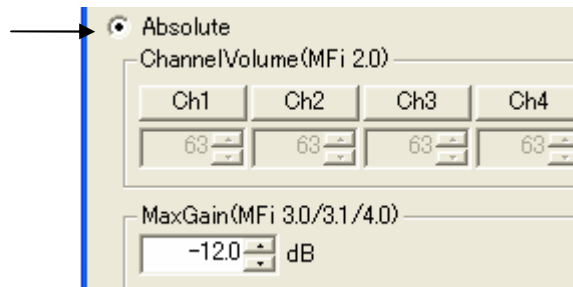
元のボリュームに対して-12dB 下げる場合



■絶対値入力する場合

ボリューム絶対値入力ボタンをクリックします。

ボリューム絶対値入力ボタン

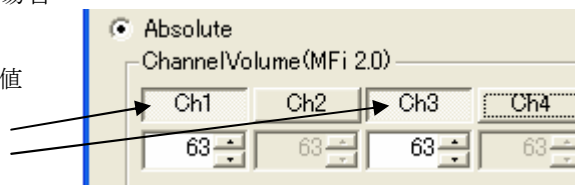


■MFi2.0 の場合

MFi2.0 用チャンネルボリューム値有効/無効切り替えボタンを押して変更させたいチャンネルのボリューム値の入力を有効にします。

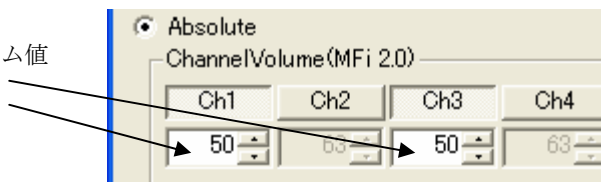
Ch1 と Ch3 を有効にする場合

MFi2.0 用チャンネルボリューム値
有効/無効切り替えボタン
Ch1 と Ch3 を有効にする



MFi2.0 用チャンネルボリューム値入力エディットボックスに値を設定します。
50 に設定する場合

MFi2.0 用チャンネルボリューム値
を 50 に設定

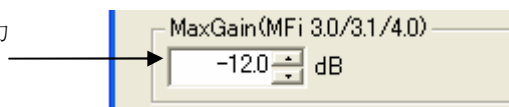


■MFi3.0、MFi3.1、MFi4.0 の場合

MaxGain 値入力に値を設定します。

-12[dB]に設定する場合

MaxGain 値入力
-12dBに設定



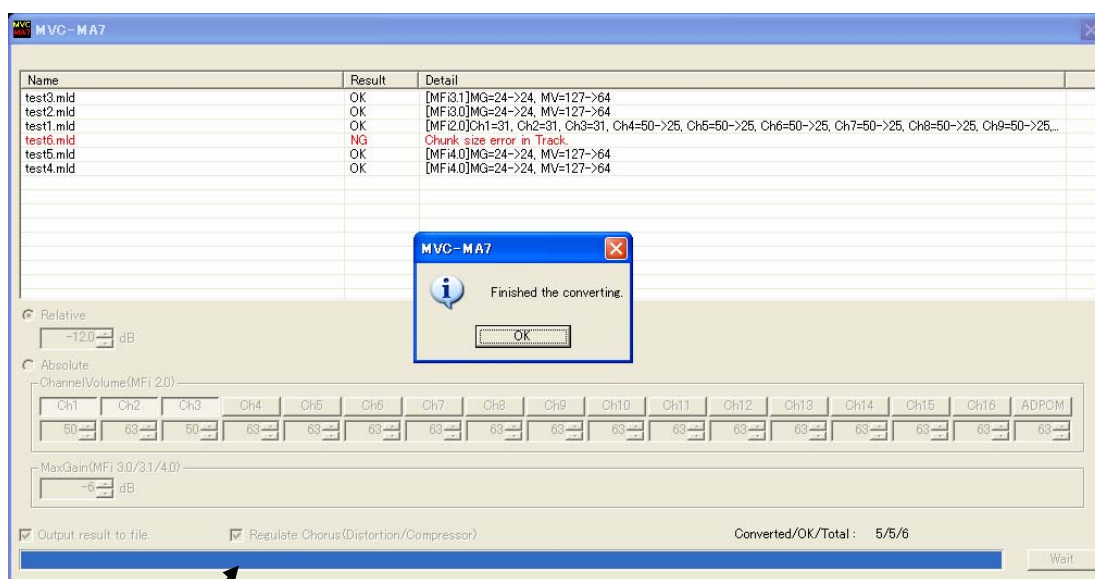
Effect(Distortion、Overdrive、Amp Simulator、Compressor)を使用している場合は、**Regulate Chorus(Distortion/Compressor)**オプションにチェックを入れると全体音量に追従してボリュームを下げるのが可能です。

Regulate Chorus(Distortion/Compressor)を ON に設定

ON に設定



- 3) MVC-MA7 上に処理するファイル(.mld)をドラッグ&ドロップします。
一度に複数のファイル进行处理することも可能です。
(プログレスバーに進捗状況が表示されます。)

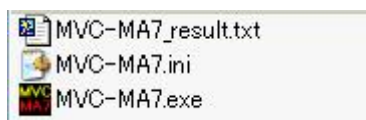


プログレスバー

- 4) ボリューム変換の処理が正常終了した場合、入力した MFi ファイルと同一フォルダに、「MVC-MA7_output」フォルダが作られ、変換後の MFi ファイルが保存されます。既に同名ファイルが存在している場合は、上書き確認ダイアログが表示されます。

名前	サイズ	種類
MVC-MA7_Output		ファイル フォルダ
test1.mld	9 KB	MLD ファイル
test2.mld	9 KB	MLD ファイル
test3.mld	9 KB	MLD ファイル
test4.mld	10 KB	MLD ファイル
test5.mld	10 KB	MLD ファイル

Output result to file チェックボックス<4.1.5Output result to file チェックボックス参照>にチェックが入っている場合は、
「MVC-MA7.exe」と同一フォルダに「MVC-MA7_result.txt」というファイル名で変換結果をテキスト形式で生成されます。



7 処理結果表示

メインダイアログの'Output log file' チェックボックス(4.1.5Output result to file チェックボックス参照)をチェックして処理した場合、「MVC-MA7.exe」と同一ディレクトリの可
「MVC-MA7_result.txt」ファイルに処理結果がテキスト形式で書き出されます。

以下が、「MVC-MA7_result.txt」ファイルの例です。

test1.mld	MFi/2.0	Result:OK	Detail:Converted.(0)	Data:2006/02/04 22:30:08			
Point[sec]	Channel/Track	Action	Before Volume	After Volume			
0.000	1(trac0)	Relative(-12.0dB)	[63]	31			
0.000	2(trac0)	Relative(-12.0dB)	[63]	31			
0.000	3(trac0)	Relative(-12.0dB)	[63]	31			
0.416	4(trac0)	Relative(-12.0dB)	50	25			
0.416	5(trac1)	Relative(-12.0dB)	50	25			
0.416	6(trac1)	Relative(-12.0dB)	50	25			
test2.mld	MFi/3.0	Result:OK	Detail:Converted.(0)	Data:2005/12/10 23:22:40			
Point[sec]	Channel/Track	Action	Before Volume	After Volume	Before Gain	After Gain	
0.000	trac0	Relative(-12.0dB)	---	---	24	24	
0.000	trac0	Relative(-12.0dB)	127	64	---	---	
4.210	trac0	Relative(-12.0dB)	113	57	---	---	
8.421	trac0	Relative(-12.0dB)	95	48	---	---	
12.613	trac0	Relative(-12.0dB)	80	40	---	---	
16.787	trac0	Relative(-12.0dB)	64	32	---	---	
20.961	trac0	Relative(-12.0dB)	48	24	---	---	
25.135	trac0	Relative(-12.0dB)	32	16	---	---	
29.308	trac0	Relative(-12.0dB)	16	8	---	---	
33.482	trac0	Relative(-12.0dB)	0	0	---	---	
37.656	trac0	Relative(-12.0dB)	95	48	---	---	
41.830	trac0	Relative(-12.0dB)	127	64	---	---	
test3.mld	MFi/3.1	Result:OK	Detail:Converted.(0)	Data:2005/12/10 23:22:40			
Point[sec]	Channel/Track	Action	Before Volume	After Volume	Before Gain	After Gain	
0.000	trac0	Relative(-12.0dB)	---	---	24	24	
0.000	trac0	Relative(-12.0dB)	127	64	---	---	
4.210	trac0	Relative(-12.0dB)	113	57	---	---	
8.421	trac0	Relative(-12.0dB)	95	48	---	---	
12.595	trac0	Relative(-12.0dB)	80	40	---	---	
16.733	trac0	Relative(-12.0dB)	64	32	---	---	
20.871	trac0	Relative(-12.0dB)	48	24	---	---	
25.009	trac0	Relative(-12.0dB)	32	16	---	---	
29.147	trac0	Relative(-12.0dB)	16	8	---	---	
33.284	trac0	Relative(-12.0dB)	0	0	---	---	
37.422	trac0	Relative(-12.0dB)	95	48	---	---	
41.560	trac0	Relative(-12.0dB)	127	64	---	---	
test4.mld	MFi/4.0	Result:OK	Detail:Converted.(0)	Data:2005/12/10 23:22:39			
Point[sec]	Channel/Track	Action	Before Volume	After Volume	Before Gain	After Gain	
Before Level	After Level						
0.000	trac0	Relative(-12.0dB)	---	---	24	24	
0.000	trac0	Relative(-12.0dB)	127	64	---	---	64(R) 32(R)
4.210	trac0	Relative(-12.0dB)	113	57	---	---	127(S) 127(S)
8.421	trac0	Relative(-12.0dB)	95	48	---	---	---
12.595	trac0	Relative(-12.0dB)	80	40	---	---	---
16.733	trac0	Relative(-12.0dB)	64	32	---	---	---
20.871	trac0	Relative(-12.0dB)	48	24	---	---	---
25.009	trac0	Relative(-12.0dB)	32	16	---	---	---
29.147	trac0	Relative(-12.0dB)	16	8	---	---	---
33.284	trac0	Relative(-12.0dB)	0	0	---	---	---
37.422	trac0	Relative(-12.0dB)	95	48	---	---	---
41.560	trac0	Relative(-12.0dB)	127	64	---	---	---

```
test5.mld  ---          Result:NG Error:Chunk size error in Track.(-51)          Data:2005/12/10 23:22:39
=====
```

<図 7-1>「MVC-MA7_result.txt」ファイル例 1

```
test1.mld  MFi/2.0      Result:OK Detail:Converted.(0)  Data:2006/02/04 22:34:41
=====
Point[sec] Channel/Track Action   Before Volume   After Volume
0.000      1(trac0)  Absolute ---         50
0.000      2(trac0)  Absolute ---         63
0.000      3(trac0)  Absolute ---         50

test2.mld  MFi/3.0      Result:OK Detail:Converted.(0)  Data:2005/12/10 23:27:05
=====
Point[sec] Channel/Track Action   Before Volume   After Volume   Before Gain   After Gain
0.000      trac0    Absolute ---         24            12

test3.mld  MFi/3.1      Result:OK Detail:Converted.(0)  Data:2005/12/10 23:27:05
=====
Point[sec] Channel/Track Action   Before Volume   After Volume   Before Gain   After Gain
0.000      trac0    Absolute ---         24            12

test4.mld  MFi/4.0      Result:OK Detail:Converted.(0)  Data:2005/12/10 23:27:04
=====
Point[sec] Channel/Track Action   Before Volume   After Volume   Before Gain   After Gain
0.000      trac0    Absolute ---         24            12

test5.mld  MFi/4.0      Result:OK Detail:Converted.(0)  Data:2005/12/10 23:27:05
=====
Point[sec] Channel/Track Action   Before Volume   After Volume   Before Gain   After Gain
Before Level After Level
0.000      trac0    Absolute ---         24            12            64(R)  32(R)
4.210      trac0    Absolute ---         ---           ---           127(S)  64(S)

test6.mld  ---          Result:NG Error:Chunk size error in Track.(-51)          Data:2005/12/10 23:27:05
=====
```

<図 7-2> 「MVC-MA7_result.txt」ファイル例 2

以下が「MVC-MA7_result.txt」の内容説明です。

ログ種類	説明	表示例
Filename	入力ファイル名を表示します。	test1.mld
MFi バージョン	入力ファイルの MFi バージョン番号を MFi の後に表記します。	MFi 4.0
Result	処理結果を表示します。 OK/NG	Result: OK
Detail/Error	結果の詳細情報を表示します。 詳細情報については<8エラーメッセージ一覧>ご参照ください。 Error/Warning メッセージの後に(コード)を表示します。	Detail: Converted
Date	ファイルを変換した詳細日時を表示します。	Date : 2005/12/12 18:38:49
Point	Result:OK / Detail:Converted の場合に、変換したボリュームについて、曲先頭(Start Point の考慮は不要)からの時間を sec 単位(小数点以下 3 桁固定)で表示します。 それ以外の場合は当該項目を出力しません。	0.02
Channel/Track	MFi2.0 の場合	■MFi2.0 の場合

	<p>Result:OK / Detail:Converted の場合に、変換したボリュームが存在する (Delete の場合は存在した) チャンネルのチャンネル番号、及び trac を表示します。</p> <p>MFi2.0 以外の場合</p> <p>Result:OK / Detail:Converted の場合に、変換したボリュームが存在する trac を表示します。</p> <p>MFi4.0 で、Effect ボリューム調整をおこなった場合</p> <p>Result:OK / Detail:Converted の場合に、変換した SendLevel が存在するチャンネルのチャンネル番号、及び trac を表示します。</p> <p>Audio チャンネルの Effect ボリューム調整をおこなった場合</p> <p>チャンネル番号(trac 番号:A)</p>	<p>ADPCM の場合 ADPCM(trac0)</p> <p>ADPCM 以外 1(trac0)</p> <p>■MFi4.0 Effect ボリューム調整時</p> <p>Audio チャンネル 1(trac0:A)</p> <p>Audio チャンネル以外 1(trac0)</p> <p>上記以外の場合、 trac0</p>
Action	<p>ボリューム変換処理方法を表示します。</p> <p>Relative(*dB) 増減値入力(dB 値)</p> <p>Absolute 絶対値入力</p>	Relative(60.0dB)
Before Volume	<p>元のボリューム値を表示します。</p> <p>MFi2.0 の場合で、元のチャンネルボリューム値が存在せず、新たに追加した場合は以下のように表示する。</p> <p><相対値入力(dB 値)の場合></p> <p>[63] ※デフォルト値[注 1]</p> <p><絶対値入力></p> <p>“---”</p>	<p>MFi2.0 の場合 0～63</p> <p>MFi2.0 以外の場合 0～127</p>
After Volume	変換後のボリューム値を表示する。	<p>MFi2.0 の場合 0～63</p> <p>MFi2.0 以外の場合 0～127</p>
Before Gain	元の MaxGain 値を表示する。	0～24
After Gain	変換後の MaxGain 値を表示する。	0～24
Before Level	<p>元の ChorusSend, Return Level 値を表示します。</p> <p>(R)が Retrun, (S)が Send を意味します。</p> <p>Regulate Chorus オプションにチェックが入っていない時は表示しません。</p>	<p>1(R)～127(R)</p> <p>1(S)～127(S)</p>
After Level	<p>変換後の ChorusSend, Return Level 値を表示します。</p> <p>(R)が Retrun, (S)が Send を意味します。</p> <p>Regulate Chorus オプションにチェックが入っていない時は表示しません。</p>	<p>1(R)～127(R)</p> <p>1(S)～127(S)</p>

<表 7> 処理結果内容

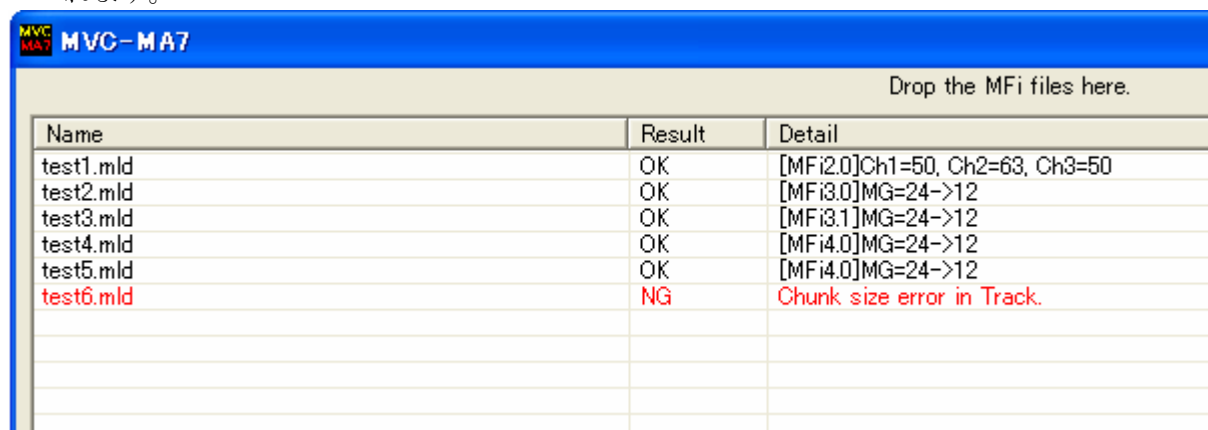
[NOTE]

MVC-MA7-C- MFi(N)の増減値(dB)入力で、入力された MFi2.0 にチャンネルボリュームがない場合、チャンネルボリュームのデフォルト値を 99 として 99 に対する増減値でボリューム値を算出します。

8 エラーメッセージ一覧

8.1 ファイル処理のエラー

変換でエラーになった場合、MVC-MA7 のウィンドウに赤字でエラーメッセージが表示されます。



Name	Result	Detail
test1.mld	OK	[MFi2.0]Ch1=50, Ch2=63, Ch3=50
test2.mld	OK	[MFi3.0]MG=24->12
test3.mld	OK	[MFi3.1]MG=24->12
test4.mld	OK	[MFi4.0]MG=24->12
test5.mld	OK	[MFi4.0]MG=24->12
test6.mld	NG	Chunk size error in Track.

＜図 8-1＞エラー表示例

8.2 Detail メッセージ

8.2.1 OK の場合

変換結果 コード	メッセージ	説明
0	Converted.	ボリュームを変換しました。
0	Not converted - Not Exist Target Volume	ボリュームを変換しませんでした。 (MFi2.0 の場合) - 絶対値入力モードで、全てのチャンネルのボリューム入力が有効になっていません。

8.2.2 NG の場合

変換結果 コード	メッセージ	説明
-24	File read error. File write error.	MFi ファイルの読み書きに失敗しました。
-25	File path is too long.	ファイルパス名が長すぎます。 この場合は処理を中止します。
-30	Can not find MasterVolume.	MasterVolume が最初のノートメッセージの前に存在しません。
-40	Folder open error.	OUTPUT フォルダオープンに失敗しました
-43	Can not find MaxGain.	MaxGain が存在しません。 MaxGain が最初の MasterVolume の前に存在しません。 MaxGain が最初のノートメッセージの前に存在しません。
-44	No MFi file.	読み込みファイルが MFi ではありません。
-45	Nonsupport File ID.	ファイル ID が"melo"ではありません。

-46	Header size error.	データサイズが異常です。
-47	Chunk size error.	ヘッダーチャンクサイズが異常です。
-48	Illegal number of Tracks.	トラック数が異常です。
-49	Subchunk size error.	サブチャンクサイズが異常です。
-50	Nonsupport Chunk ID in Track.	トラック ID が"trac"ではありません。
-51	Chunk size error in Track.	トラックチャンクサイズが異常です。
-52	Illegal number of Audio data.	オーディオデータ数が異常です。
-53	Nonsupport Chunk ID in Audio data.	オーディオデータ ID が"adat"ではありません。
-54	Chunk size error in Audio data.	オーディオデータチャンクサイズが異常です。
-55	Nonsupport version of MFi format.	MFi のバージョンが未対応です。

8.3 メッセージボックス

8.3.1 エラーメッセージ

メッセージ	説明
Initial file parameter error.	MVC-MA7.ini が存在しません。 TARGET_FILE の設定が不正です。 初期ファイルは存在しないと起動できません。
Can not output the result to (path name).	結果ファイルへの出力に失敗しました。 結果ファイル名が長すぎる場合、結果ファイルが排他オープンされている場合、結果ファイルを出力するメディアが書き込み禁止の場合が該当。 この場合は処理を中止します。
Folder open error.	Output フォルダ作成に失敗しました。 この場合は処理を中止します。

8.3.2 確認メッセージ

メッセージ	説明
(path name) has already exist. Overwrite all? はい/いいえ	MFi ファイル上書き確認メッセージ。一回だけ表示します。
Finished the converting.	処理が終了しました。 正常／異常に関わらず、このメッセージを表示します。